

北海道英語教育学会第3回研究大会

日時：2002年10月19日（土）

会場：藤女子大学（北16条キャンパス：新館7階）

講演：「コミュニケーションを重視した授業の指導と評価」

長 勝彦（日本女子大学教授）

研究発表

司会 河合 靖（北海道大学）

横山 吉樹（北海道教育大学岩見沢校）

1. 野村くみこ（北海道教育大学大学院函館校院生）「リスニングにおける未知語への指導方法の示唆 リーディングにおける先行研究から」
2. 中村 洋（北星女子高等学校非常勤）「中学校英語教科書の語彙分析」
3. 太田有香（北海道大学大学院国際広報メディア研究科院生）「チャット・システムを活用したコミュニケーション活動の特徴と指導方法に関する一考察」
4. 皆川治恵（北海道教育大学岩見沢校）「演劇活動を用いた授業--『ガラスの動物園』--を読む」

シンポジウム

司会 萬谷 隆一（北海道教育大学）

テーマ「絶対評価の現状とその課題」

パネリスト：

長 勝彦（日本女子大学講師）

五十嵐 仁（札幌市立北辰中学校教諭）

田村 誠（伊達市立伊達中学校教諭）

（萬谷隆一）

絶対評価をめぐるさまざまな論議が展開されている。評価のための評価とならないよう、「何のための絶対評価なのか」を見きわめ、望ましい方向を探る必要がある。このシンポジウムでは、パネリストとフロアの意見交流により、絶対評価にかかわる現状を把握し、課題を探ってゆきたい。

（長 勝彦）

昭和18年（1943）3月25日に発令された文部省訓令第2号「中学校教科教授及び修練指導要目」の中で、外国語科の教授方針が示された。終戦を経て、昭和22年3月20日に「学習指導要領（試案）」が文部省より発行され、4月から中学校の新制度が発足された。我が国に於ける教育の大改革であった。今回の「絶対評価の導入」は、この時に次ぐ我が国に於ける教育の大改革であるという認識の上に立って、次のようなことについて皆さんと考えて行きたい。

- ・外国語教育の目標とは
- ・目標に準拠した絶対評価とは
- ・指導方法の改善について
- ・多様な評価方法の工夫について
- ・その他

（五十嵐 仁）

中学校でも絶対評価による評定がスタートした。昨年度末から取り組んだ年間指導計画、評価規準、基準の作成では、生徒のより主体的な学習活動を想定しての作業となった。

さて、新年度に入ると日常の学習活動、評価活動、定期テストの作問等々・・・試行錯誤の連続であった。1学期を終えてみるとそこにはたくさんの課題と疑問が残った。生徒の学習活動をプラス思考で促すための「指導と評価の一体化」を目指しての評価・評定について、今後たくさんの交流が必要不可欠だと強く感じている。

(田村 誠)

絶対評価については、これまでの認識を改め趣旨に則った取り組みが必要だと思います。しかし、現状は多くの誤解・課題があるのではないのでしょうか。そのような中、研修会の重要性がますます大きくなると思われます。絶対評価が導入され、私たちも1学期・夏休みと学習会を開催してきました。どのように学習会の開催に取り組んでいるかを振り返ると共に、自分の取り組みからも絶対評価について考えたい。

第5回 英語教育論文発表会

日時 2003年2月16日(日)

会場 藤女子大学 北16条キャンパス・新館7階

13:00~13:10	開会行事 加藤富夫(北海道教育大学札幌校)
13:10~14:50	第一部 会場1 第1発表者~第5発表者 会場2 第1発表者~第5発表者
14:50~15:00	移動・休憩
15:00~17:00	第二部 会場1 第1発表者~第4発表者
17:00~17:05	閉会行事
17:05~17:30	総会
17:45~	懇親会

第一部 学部生論文発表

会場 1 司会:横山吉樹(北海道教育大学岩見沢校)

13:10~13:30

伊藤 康大(北海道教育大学岩見沢校学校教育教員養成課程外国語グループ)

“The Effect of Proficiency and Task Type on the Second Language Self-repair Behavior”

13:30~13:50

江草 千春(北海道教育大学岩見沢校学校教育教員養成課程外国語科教育専攻)

“The Effects of Fluency, Accuracy, Complexity on Second Language Speech Production”

13:50~14:10

柴田 貞雄(北星学園大学文学部英文学科)

「談話の導入に用いられる現在完了形の役割について」

14:10~14:30

長谷川 多栄子(北海道教育大学札幌校学校教育教員養成課程英語専攻)

“Teaching English Language in Elementary School: Effective Classroom Storytelling with Picture Books in Japan”

14:30~14:50

池田 沙世(北海道教育大学函館校国際理解教育課程)

「異文化コミュニケーション教育の指導法について」

会場 2 司会:竹村雅史(函館工業高等専門学校)

13:10~13:30

桜井 良子(小樽商科大学商業教員養成課程)

“Expressions of Using Auxiliary Verbs”

13:30~13:50

附田 紘子(北星学園大学文学部英文学科)

「中学生英語学習者による人称代名詞・格の習得及び使用についての研究」

13:50~14:10

都築 宏海(北海道教育大学函館校学校教育教員養成課程英語専攻)

「高校英語における5文型指導に関する考察 新たな文型指導案の提示」

14:10~14:30

本間 沙矢香(北海道教育大学札幌校学校教員養成課程英語専攻)

“Grammatical Terms in Junior High School English Textbooks”

14:30~14:50

山下 純一(北海道教育大学岩見沢校教員養成課程英語科教育専攻)

“L1 Use as reading strategies: The Effects of Types of L2 Text and L2 Reading Proficiency of EFL Learners”

・ 14:50~15:00 移動・休憩

第二部 大学院生論文発表

会場 1 司会:横山吉樹(北海道教育大学岩見沢校)

15:00~15:30

大塚 謙二(北海道教育大学大学院札幌校修士課程英語教育専攻)

“A Study of Japanese Junior High School Students Perception of Interactional Feedback”

15:30~16:00

大野 拓恵(北海道教育大学大学院札幌校修士課程英語教育専攻)

“The Relationship between General English Proficiency and Oral Reading Competence: From the Perspective of Working Memory”

16:00~16:30

乙川 顕寿(北星学園大学大学院文学研究科言語文化コミュニケーション専攻)

“Self-motivation Research in Japanese English Learning Context Cluster Analyses on L2 Motivation Orientations and Self-motivation strategies”

16:30~17:00

範 玉東(北海道教育大学大学院札幌校修士課程英語教育専攻)

“Developing Metaphorical Competence in Second Language: An Investigation on L2 Speakers at an Academic Level”

・ 17:00~17:05 閉会行事

・ 17:05~17:30 総会

会終了後、発表者を交えての簡単な懇親会を予定しています。

会場: 藤女子大学(1階)クサベラホール 時間 17:45より